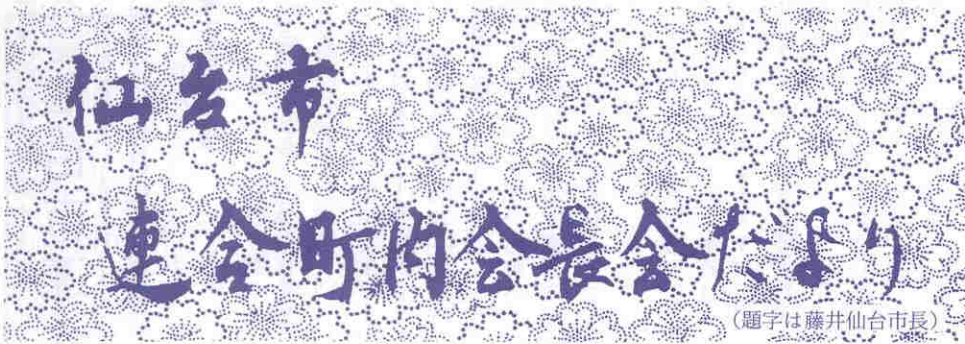




平成16年〈2004年〉3月

第13号

発行
仙台市連合町内会長会

〒980-8671
仙台市青葉区国分町3丁目7番1号
(仙台市市民局広聴相談課内)
電話 022-214-3810

ごあいさつ



仙台市連合町内会長会の皆様には、本市の市政運営に対し、日ごろより格別なご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、相次ぐ地震や天候不順による十年ぶりの米の不作など、片時も気持ちが悪くなるような年でした。雇用や経済、政治状況の不安も先行きが見えないなかで、どのように社会の活力を維持し、安全安心な暮らしを築くかが課題となっています。

ごあいさつ



町内会の皆様には、日頃、安全・安心なまちづくりのため、協力してご尽力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、昨年五月、七月及び九月に大きな地震がありました。本市においては、幸いにも大きな被害もありませんでしたが、ご近所同士の助け合い、とりわけ町内会の役割が問われた年でありました。宮城県北部を襲った連続地震に際して

仙台市長
藤井 黎

これからは、地域が自主性を発揮し、自らその進む方向を選択する時代だと思います。そのためには、まちづくりを支える市民の力を育て、都市や地域を越えた相互連携などによってまちづくりを進めていくことが重要だと考えます。

これからも皆様とともに未来に希望を育む都市づくりを進めてまいりますので、市政への一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、貴会のますますのご発展と皆様のご健康をお祈りしてご挨拶いたします。

会長

青木 美治栄

は、お互いに無事を確かめ合う様子がテレビで放映されていきました。やはり、頼りにするのは、お隣さん。そして、頼りになるのは、町内会だろうと思います。

町内会の責務は、多岐にわたっており、町内会には、地域に住まいする住民同士が、そして、関係する諸団体と話し合い、協力し合いながら住民の幸せを願って活動しております。

今後、皆様と情報を共有しながら、協力して、本会の運営に当たってまいります。

全国自治会連合会仙台大会

本年十月十四日開催

昨年十月十七日開催された全国自治会連合会（全自連）の理事会において、各役員からの強い要請があり、全国大会を仙台市において開催することに決定いたしました。○全自連は、各都道府県を単位とする住民自治連合組織を会員とする住民自治連合組織を会員として組織されております。現在、三十都道府県が加入しております。全自連は、会員相互の連絡を密にし、住民自治連合組織の発展向上に努め、もって地域住民の福祉の向上と豊かな地域づくりに寄与することを目的としております。○全自連は、昭和六十年に結成されましたが、宮城県内に連合組織を結成していないので、本会単独の会員として、平成七年度から加入しております。○昨年は、東京大会として、都庁を会場に開催されました。本年の仙台大会の期日は十月十四日（会場・パレス・ヘイアーン）として準備中であります。全国三十都道府県の町内会・自治会の仲間をお迎えし、『連携、交流、親睦』を図りながら、全自連の拡大促進と更なる連帯の輪を深めてまいります。

○本年三月末から、NHK朝の連続テレビ小説「天花」が放映されます。仙台市などを舞台にドラマが展開されるとのことです。仙台のまちの美しさ、人情の豊かさなどに触れて、仙台大会に参加いただければ幸いです。

回覧

仙台市連合町内会長会

(略称 市連会長会)

▼正副会長会

会長、副会長、庶務理事及び会計理事が市連会長会の運営について協議を行います。今年度は、八月と十二月を除き十回開催しました。協議の主なものは、○町内会未加入対策、○生き生きとした町内会(町内会の活性化)、○町内会役員の負担軽減(配布文書等の削減等)、○安全・安心なまちづくり等々であります。

特に町内会未加入対策については、常に話題となっております。ポスター掲示やマスメディアの活用も考えましたが、実効性は上がっておりません。また、町内会役員になり手が少ないというのも共通の課題であります。

▼総会、役員会

総会は、会員(連合町内会長)の出席を得、五月三十日に、役員会は、五月二十日及び十月二十一日に開催いたしました。

総会では、平成十四年度事業報告、収支決算報告及び平成十五年度事業方針、収支予算並びに役員改選などについて協議しました。役員会では、総会に諮る事項や

会の運営に関することを協議しました。



5月30日 勾当台会館において

▼役員移動研修会

十月二十二日、役員会に先立ち、消防局の可沼伸一危機管理監を講師に、「地震災害と町内会の役割」と題し、研修会を開催しました。

「グラツときたら火の始末」、「避難のまえには、ガス、電気の確認を」。身の安全をまもるには、「家具の転倒防止対策」、「ブロック塀対策」、「地域防災活動への参

加」そして「家庭内での備え(非常持出品・備蓄品)」であります。向こう三軒両隣、助ける助けられるお互い様です(日頃からのお付き合いが非常に大切)。

心新たにする研修会でした。

宮城県沖地震

- ・1978年(昭和53年)6月12日
- ・マグニチュード7.4
- ・死者28名(県内27名)
- ・海洋型
- ・都市機能(ライフライン)の被害
- ・ブロック塀、造成宅地の被害

(防災白書平成14年版)

▼木下大サーカス

仙台公演の支援

社会福祉事業協賛として開催された『NEWミラクル世界猛獣ショー&木下大サーカス仙台公演』が、六月十四日から八月二十六日まで、仙台駅南地区で開催されました。各町内会では、ポスター掲示などの支援をしました。

開催期間中、福祉施設の入所者等が多数無料招待されました。約三十四万人もの観客があり、大盛況でした。

▼大規模災害時・地域支援活動

九月一日(社)仙台建設業協会は、地域貢献事業の一環として、建設現場周辺の住民のために、工事現場の組織・機械力を活用し、救助・救出等を主に支援することを宣言しました。



宣言式には、本会正副会長等が立ち会い、ともに協力することを誓いました。



9月1日 支援宣言式

▼地下鉄東西線事業 許可報告会

十月三十日、「許可は出た! いいよ、まちづくり」をテーマに報告会が開催されました。本会も共催団体として参加しました。ホテル仙台プラザには、町内会長や役員も多数参加し、東西線の工事完成に向け、誓いを新たにしました。



▼「仙台」ナンバー創設を

仙台市の都市イメージの向上・観光振興の効果・街を元氣付け、地域振興に寄与・「わが街・仙台」への愛着を高める、自動車「仙台」ナンバーの創設を実現するために、署名活動を展開しております。

町内会にも協力を求めた結果、全体で二十七万人を超える多数の方々から署名をいただきました。

青葉区連合町内会長協議会

平成十五年活動状況

△総会

平成十五年五月十四日齋藤区長等を来賓に迎え、青葉区役所四階会議室で開催しました。

平成十四年度の事業並びに決算報告、平成十五年度の事業計画及び収支予算案、役員改選について原案どおり承認されました。

△新任町内会長研修会

平成十五年八月八日齋藤区長等を来賓に迎え、市役所八階ホールで新任町内会長四十九名の出席を得て開催しました。

町内会の手引き等を参考に、町内会育成事業等について、青葉区役所の担当課長から説明を受けました。

△連合町内会長移動研修会

平成十五年十月十六・十七日作並温泉において、東北工業大学の田中教授を講師に迎え、「地震から家を守るためには」をテーマに研修会を開催しました。

△区民まつりへの参加

十一月三日に開催された区民まつりの連合会ステージタイムに、桜ヶ丘、片平、広瀬地区の各連合町内会が出演し、舞踏と合唱を発

表しました。

△町内会会員研修会

平成十五年十一月十七日齋藤区長等を来賓に迎え、エルパーク仙台ギャラリーホールで百五十八名の会員の参加を得て、悪徳商法及び地域防犯に関する研修会を開催しました。

《八幡地区 町内連合会》

地域個性を生かす まちづくり

会長 永山 富康

当連合会は、東は東北大学病院西側の新坂通りから西は国宝大崎八幡宮の北側、山上清水迄、南は広瀬川の牛越橋から瀬橋迄、北は伊勢堂山と広大な範囲からなり、この中に三十三町内会（登録世帯約五千）から構成されています。毎年、様々な行事を遂行しておりますが、目下平成十四年度より青葉区第一号の指定を受けた「個性ある地域づくり計画策定事業（二カ年間）」に取り組んでいます。

本事業は一昨年九月に地域住民三十七名の委員で始めました。具体的には五つの部会を設置し



ワークショップでのまとめ発表

十五年度中に、地区住民が将来にわたって共有し、尊重できる地域づくり計画を慎重を期してまとめたいと考えています。今回はパイロットケースということで多くの苦労がありました。改めて地域を見つめ直す機会となっただけでなく、地域への関心や愛着を高めながら、住民主体のまちづくりを進めることに役立ち、それができたと感じております。

《川前地区 連合町内会》

住民相互の親睦を 深めるために

会長 佐藤 良子

私たちの川前地区は緑豊かな自然に恵まれ、旧定義参道として栄えたところです。

現在は世帯数千三百余り、昔からの伝統ある芋沢、川前地域と新しく構成された赤坂ニュータウン、高野原団地の新興住宅地の六町内会で構成されています。

住民の生活様式には、大きな違いがあり、連合町内会の活動にも、いろいろな意見の相違がありました。

そうした中で各町内会相互の緊密な連携と、共存、共栄のために諸事項の処理並びに住民福祉の増進と会員相互の親睦を深めるた

め、情報交換や意見の調整に努めております。

その中でも子供達を地域の子として、学校と家庭が一体となって育てていくことのねらいから、小学校と川前学区体育振興会との合同による川前学区民運動会は、老若男女誰もが参加し、健康の大切さと住民相互の親睦を深めるためには、多大な成果をあげており、毎年実施しております。

その他、コミュニティセンターを中心に、八月には全町内会が一堂に会し、こども祭り、演芸大会、花火大会等ふれあい行事を多数実施しています。



川前コミュニティ祭り

連合町内会はもとより、各町内会へは、いろいろな意見が寄せられてきますが、何はともあれ、新旧住民が、一日も早くお互いにとけ合い、安心して安全に暮らせる地域づくりを目指し、連合町内会の役割を果たしていきたいと努力し、取り組んでいるところです。

宮城野区連合町内会長協議会

平成十五年活動状況

△総会

四月十七日、櫻井宮城野区長を来賓として迎え開催し、平成十四年度事業報告、収支決算報告並びに平成十五年事業計画案、収支予算案を協議し、原案どおり承認されました。

△青葉まつりへの参加

五月十八日、第十九回仙台青葉まつりが開催され、九つの連合町内会代表が武者、子供武者として堂々の行進を行いました。

△新任町内会長研修会

七月二十八日、新任会長（四十九名中二十六名が参加）を対象に、市の行政の仕組みを当協議会が作成した「町内会活動のガイド」を使って説明し、困りごと等の相談を区連協役員と行いました。

△移動研修会

八月二十八・二十九日、初めて県外の山形市を訪問し、山形市広報委員長連絡協議会会長外役員の方々とまじり合いなどについて、活発な意見交換を行いました。

△秋の交通安全運動区民大会

九月二十一日、小雨のなか、宮城野原総合運動公園南側多目的広

場で「みんなで参加楽しく交通安全全一」をスローガンに開催。当協議会としても宮城野区の交通安全を高らかに宣言しました。

△みやぎの・まつり

十月十九日、晴天のなか、各連合町内会の代表が、メインステージで演芸を披露し、まつりを大いに盛り上げました。

《幸町学区
町内会連合会》

町内会相互の

コミュニケーションを図って

会長 安住 信行

幸町学区は、仙山線東照宮駅から徒歩で十五分程度の東側地域であります。

昭和三十年後半から高度成長期で、広範囲にわたって宅地化が進み、中高層ビル、住宅が建ち、公営住宅・公務員宿舎が集中的に建設されました。

現在は、不況の波で公務員宿舎の空室が目立つ状態です。そんな中で当地区の二大行事として六月

の「学区民運動会」と七月の「サマーフェスティバル」が例年盛大に開催されます。

その「サマーフェスティバル」

の一端を紹介すると、校庭に舞台を作り、各町内会（十町内会）が各々テントを張り、焼きそば、焼き鳥、カキ氷など、それぞれ出店します。又抽選会の賞品に玄米三十kg、野菜一籠、醬油類の詰め合せ等を準備します。舞台では、子供達の「すずめ踊り」等を始め和太鼓など、沢山の演技が披露され、その舞台の前には、手作りのテーブルに椅子が置かれゆっくりと豪華な花火が見物できます。それに各出店の手作り看板も、見事なもので、これらが人気をよんで二日間約五千人の入場者が集まりました。このように町内会相互のコミュニケーションにより親睦



サマーフェスティバル幸町

と交流を深めております。

しかし、当地区にも二十四時間営業による大型店の進出があり、大変危惧されることです。至るところから行き場のない青少年が集まるだけでなく、非行の温床になるのではと考え、今後頻繁な巡回により、良き環境作りを行うよう努力するのが当面の悩みであります。

《西山学区
町内会連合会》相互親睦と地域発展を
目指して

会長 澁谷 昭三

西山学区町内会連合会は、平成三年に仙台市立東仙台小学校のマンモス化を解消するため、東仙台、鶴ヶ谷東、鶴ヶ谷、栢江の四つの学区の一部が集まって仙台市立西山小学校が新設開校された事に伴い、西山学区が生まれました。

西山学区内には、十三の単位町内会があります。連合町内会を結成するに当たって会合が持たれました。鶴ヶ谷連合町内会に所属する三町内会、新設する西山学区連合町内会には加入しない意思表示があり、十町内会をもって平成三年四月十八日設立総会を開き、誕生しました。

学区内には、各種の団体がありますが、学区内でもっとも活動



西山学区民運動会

している団体は、学区民体育振興会とPTA位で他の団体は様々な事情がありますが、他学区と入り混じっているのが実態です。

当面私達が努力目標としていることは、西山学区に一日も早くコミュニケーションセンターを建設していただきたい事です。粘り強く陳情をしておりますが、学区内には鶴ヶ谷市民センターがあることと市の財政事情の理由でなかなか進展していないのが実情です。しかし、私達の趣旨をご理解され、検討されているところです。

比較的小さな連合町内会ですが、区連協定例会に合わせ二カ月に一度、定例会を開催し、区連協会議報告をし、各町内会の情報交換を行い、明るい地域づくりを進めているところであります。

若林区連合町内会長協議会

平成十五年活動状況

△総会

五月十六日、森下若林区長を来賓として迎え、五橋会館を会場に開催。平成十四年度事業報告、決算報告、平成十五年度事業計画案、予算案、役員改選が原案どおり承認されました。

△新任町内会長研修会

七月十八日、新たに町内会長になられた方を対象に開催し、三十四名中二十名が参加。「町内会活動の手引き」を活用しての研修と区連協理事との情報交換等を行い、有意義なものとなりました。

△町内会長移動研修会

九月四日、八十五名の参加のもと、秋田県横手市・湯沢市を訪問、秋田ふるさと村、かまくら館等を見学しました。

△区民ふるさとまつり協力

十月十八・十九日、第十五回若林区民ふるさとまつりが盛大に開催され、協議会としても企画運営まで参加し、まつりを盛り上げました。

△(仮称)若林警察署設置要望

近年の犯罪増加の現状に歯止めをかけるため、若林区内の全町内

会長が署名した(仮称)若林警察署設置の陳情書を「宮城県知事」と「宮城県警察本部長」あてに十六年二月六日に提出しました。

《南小泉北部連合町内会》

史蹟に集い、

防災でまとまる

会長 佐藤いわず

当連合町内会は、若林区役所北側の十町内、約四千世帯をもって構成され、各町内の名称も木ノ下、薬師堂、鍛冶屋敷、桧木など古くからの地名を冠するものが多く、地域内には薬師堂、白山神社、



陸奥国分寺境内の清掃

陸奥国分寺など緑多い広大な土地を擁する国指定の史蹟があり、春は桜、秋には紅葉と自前の史蹟公園に集い合っています。

また、エリア内に平成十五年に移転新築完工し、男子生徒も受け入れることになった、聖和学園高等学校があります。

これらの史蹟を守るという特殊性から、婦人防火クラブ活動を中心とする防火防災意識が高く、毎年一月二十六日の文化財防災の日には、寒気を突いて訓練事始めをしています。

また、毎年秋には、夜間訓練も含む大々的な訓練を実施しており、平成十五年の夜間訓練には、中央の「映学社」から高木監督以下スタッフが来仙し、六種にわたる訓練状況が撮影され、この映像(ビデオ)は全国的に頒布されることになっています。

この他、消火器や防災グッズの購入や修理の幹旋も行い防災意識の高揚に努めています。

次に、地域内の交流としては、南小泉夏祭り盆踊り大会への参加、南小泉小学校と体育振興会共催の学区民体育祭への参加、若林区中央市民センター常設の各種文化活動への積極的参加などを通じて、地域内のコミュニケーション作りを図っています。

とはいえ、ご多分にれず少子高齢化の進行は、ひとり防災面だけにとどまらず多くの課題を残し

ているといえます。

その中であって、十年先とはいえ地域内のど真ん中に地下鉄東西線の建設が本決まりとなり人々の胸を大きくふくらませていることもまた事実であります。

《東八幡丁南部町内会》

いつまでも元気で楽しく

会長 北原 重徳

東八幡丁南部町内会は、荒町商店街と連坊のムニャムニャ通りの、南から北へ一方通行の通りです。

北の方向へ歩いて、十五分で仙台駅東口へ行くことができる大変便利な地域です。

戦災にも遭わず、高齢者の方が比較的多いのも町内会の特徴です。市立病院も近く、地下鉄や学校など、生活しやすい環境のためアパートやマンションが多く、最近駐車場が増えてきています。

三百余世帯で構成している町内会では年間行事計画を、みんなで作成できるものを第一と考えており、四月の総会に提案して、いろいろなイベントを実施しています。その中から、幾つかを紹介させていただきます。

六月には、日帰りでしたが、志津川のホテル観洋へ出かけ、老人クラブ睦会のみなさんと『木』について、種々勉強しながらの研修



町内住民への防犯指導

旅行を、楽しく実施することができました。

帰りのバスの中で、次回の目的地を話題にして候補地をしばらくします。これが『和』の原点と思って、役員一同これを企画しています。

七月二十一日には、今年で三回目の『豊齢者とのつどい』を、町内会員の七十歳以上の方々と、一緒に食事をしながら、歌に踊りに大変賑やかな一時を過ごすことが出来ました。

十一月三日は、町内恒例の『芋煮会』です。サンマ百匹、お好み焼き百枚、そして芋煮二百人分を会場に用意し、参加出来ない人には鍋で配達します。

郵便配達の職員や宅急便の方など、誰彼の違いなく『みんな楽しく食べよう』が合い言葉になっています。

これからも、高齢者の先輩からいろいろ教えていただき、楽しいそして愛される町内会になるよう、役員一同頑張りたいと思います。

太白区連合町内会長協議会

平成十五年活動状況

△総会及び役員会等

四月二十二日、菅野太白区長を来賓に迎え開催、十四年度事業報告並びに収支決算報告、十五年度事業計画案を協議し、原案通り承認されました。また、必要に応じて役員会等も開催をしました。

△各まつりへの参加・協力

五月十八日に開催された第十九回仙台青葉まつりの武者行列に参加をしました。また、十月十九日の太白区民まつりでも企画運営メンバーとしてまつりを盛り上げました。

△新任町内会長研修会

七月十五日、新任町内会長二十四名が出席し、町内会活動の手引書をもとに町内会活動に関係する諸制度についての説明や意見交換等が行われました。

△歴代区長を囲む懇談会

八月九日、太白区歴代の区長を招いての懇談会を開催。各歴代区長からは、これからの太白区の発展に向けての様々な貴重なご意見を頂戴しました。

△移動研修会

十月二十三・二十四日、山形県

金山町を訪問し、地域の資源を生かして作られている町並みなどを見学しました。

《郡山地区 連合町内会》

独自の活動に配慮

会長 千葉 胞義

郡山地区は市南部に位置し、JR線の東部、広瀬川と名取川に挟まれた平坦地です。地域一帯は遺跡が多く、土器古瓦の破片が多数出土する古代文化の発祥地でした。従来は農業地帯でしたが宅地開発が進み、仙台バイパスを境に、東部に田畑が多く、西部はマンション



防災訓練風景

ンを含む住宅地となっています。公共施設は小中学校三校、コミセン二、老人福祉センターがあります。医療、防災、金融機関に恵まれていない現状です。

運営、事業の推進は単位町内会独自の活動に配慮し、単位町内会長の理事会で審議し推進しています。以下概要を述べますと、

防災訓練

自主防災組織によって、郡山・東郡山コミセンを拠点とし、各町内より参加。婦人防火クラブ、消防署、分団の協力により、情報収集連絡、機材の取扱、炊出し、ワークショップにより防災意識を高めることができました。今後防災マップ作成の意図もあります。

地域づくり

郡山・東郡山コミセン、うぶすなの各々のまつりを協賛し、各年齢層による展示、演芸、野菜即売と雰囲気は盛り上がり、ふれあい深めています。

毎年二月、行政との懇談会をもっていますが、すでに提出してある各町内の要望、郡山地域づくりの陳情等を「あすと長町」の整備事業と併行して特色あるまちづくりを要望しています。

川づくり

郡山地区は、郡山堀、谷地堀、筑川等が流れ多自然型の河川改修とポンプ場設置、公園作りを関係機関に陳情し改修も進行しています。そのほか広報紙発行、移動研

修、各種団体と連携して福祉の充実、青少年の健全育成に努めています。

《向山経ヶ峯 親交会》

念願の防災マップを作成

会長 我妻 泰平

親交会の生い立ち
藩祖政宗公の廟のある経ヶ峯にあやかり、経ヶ峯親交会と命名。親睦と福祉を目的に、昭和三十年九月、五百七十世帯構成で発足。以来四十八年目的達成に資する事業の促進に努めております。領域全体が山合いの地形にあり、大方の道路は旧来からの狭隘な私道のため、交通上はもとより防火、衛生、保安等に伴う住環境等の整備改善の役割を担い、健闘中の親交会であります。

仕組みと役割

地形上、四十班編成で、会の運営に努めております。基本的案件は総会、通常の事項は定例の理事會、諸般の行事は実行委員會、管理運営の事務は、随時開催の常任理事會に諮り方針化、効果的事業の円滑な促進に努めている所です。

会館の完成まで

昭和三十六年六月、親交会運営の重要な役割を担う集会場の建設計画が決定。建築資金、建設場所等諸般の難題を抱えていましたが



平成11年12月 親交会館落成

四十年來の努力の結果、平成十一年十二月五日、仙台市御当局の御高配により完成。目下、親交会の大きな役割を担って存分の活躍の実状にあります。

会務のあらまし

福利の向上、目的達成に資する會合、行事、研修會、施設の見學會、瑞鳳殿、靈屋下町内會、当親交会三者合同の防火訓練、婦人防火クラブ、敬老會、子供會等合同で実施する炊出し訓練で協力体制の強化に努めております。平成十四年十二月二日、念願の防災マップを作成。全戸に配布し、災害等の安全対策の促進に努めている所であります。

在り方の要

旧態依然の現況を施す領域の整備改善の事業が肝要です。地域は風光明媚な自然、風致文教の指定地です。事業の諸般は、自然環境との協調性、新世紀との相応性の両立、安住性豊かな新たな町づくりの大役を担う親交会でもあります。

泉区連合町内会長協議会

平成十五年活動状況

△総会

五月九日、泉区長等を来賓に迎えて開催。平成十四年度事業報告・収支決算報告、平成十五年事業計画案・収支予算案が原案どおり承認されたほか、役員改選を行いました。

△新任単位町内会長研修会

六月十八日、新しく町内会長になられた方々を対象に開催。三十名の出席のもと泉区の概要、町内会の現状とその課題、市の町内会への各種助成制度を中心とした町内会育成事業についての説明後、意見交換が行われました。

△泉区選出の

市議・県議との懇談会

市議・県議全員の参加をいただき、九月十九日開催。防犯や地域利用施設建設などをテーマに懇談、議員の方々から力強いお話をいただいたほか、市政・県政における地域情報についても説明され、有意義なものとなりました。

△連合町内会長協議会研修会

十月七日・八日連合町内会長十八名参加のもと八戸市役所を訪問。町内会育成事業などについて

説明を受けた後、八戸市の連合町内会長の方々と活発な意見交換を行い、親交を図りました。

△単位町内会長研修会

十月二十六日・二十七日作並にて開催。七十一名参加のもと泉区長から「泉区のまちづくり」当面する仙台市政の主要課題を中心に「と題した講演をいただき、引き続き町内会関連事項について質疑、応答が交わされました。

《将監町内会

自治会連絡協議会》

創立三十周年を迎えて

会長 樋口 稔夫

◇将監連協のプロフィール

宮城県がこれまで造成した住宅団地としては、県内一の規模を誇る将監地域に、昭和四十八年三月十一日当連絡協議会が結成され、今年度で満三十年の記念すべき節目の年を迎えました。記念事業として昨年十一月式典、祝賀会、植樹並びに東北大学源榮教授による「迫り来る宮城県沖地震に備え



創立30周年記念植樹

て」の記念講演会を実施、笠原泉区長始め多くの関係皆様のご臨席をいただき、盛会裡に終了致しました。

当連絡協議会は、十七町内会、五千八百余世帯、約一万六千人で構成されております。

また、現在の将監地域の北側に隣接し、「将監ニュータウン」の追加造成が完了、計画戸数千戸、人口三千五百人の新しい街が出現する予定です。

◇まちづくりの課題

将監連協三十周年を迎えて「安全・安心で住み良いまちづくり」をスローガンに活動を進めておりまして、将監地域特有の解決すべき多くの課題を各会から寄せられておりますが、その中から代表的な課題として、

一、元氣・活力のある地域づくりを進める。
二、高齢化・一人住まい家庭が増える事から地区社会福祉協議会を結成、生活弱者をサポート。

三、地域内各種設備は経年劣化、計画的な設備更新を要請。

四、宮城県沖地震が至近來襲との情報もあり、地域内各自主防災組織の連携強化と共同研修。

五、道路・交通施設整備による安全の確保。

などがあげられます。

これから地域内各種団体と連携して、他に誇り得る「ふるさと将監」の実現に向けて努力しているところです。

《南中山二丁目西

町内会》

親睦の和を安心の和に

会長 原 和子

当町内会には南中山小学校・南中山中学校があり、去る十一月十三日にはサンライフ泉が南中山市民センターとして開館し、とても良い環境にあります。

どこの町内会も団地建設年数の経過とともに高齢化が進むなか、南中山地区にも平成六年三月に地区社会福祉協議会が設立され、「敬老祝賀会」や「わいわいサロン」など地区全体の高齢者を対象に催されていますが、私ども単位町内会でも地区社協理事や福祉協力員のご協力をいただきながら高齢者を対象とした催し物を行っております。平成十四年度はサンライフ泉で高齢者の文化祭を開催

し、若い頃の作品や今まさに活動中の作品などを出品いただき、お茶や手作りお菓子をいただきました。残念ながら今年度は展示会場が改修工事のため泉ヶ岳での芋煮会開催となりましたが、皆さんで楽しい時間を過ごしました。平成十六年度はぜひ文化祭を開催したいと思っています。

また、町内会婦人部では新装となった市民センターを会場にフラワーアレンジメント教室を開催し、昨年四月に北中山地区に開設した知的障害者の通所施設「仙台ローズガーデン」で生産されたバラやガーベラなどの花材を使用してクリスマス向けの作品に挑戦、講師の先生からご批評をいただきながら和気あいあいと親睦会も同時に開催されました。



泉ヶ岳での芋煮会

全国自治会連合会東京大会

全国の町内会・自治会で組織する「全国自治会連合会」の全国大会が昨年十一月三日・東京都庁を会場に開催されました。本会からは、会長、副会長等が出席したほか、全国各地から四百名余りの参加がありました。



東京都知事の祝辞（副知事代読）は、治安対策を取り上げ、「犯罪を減少させるためには、行政の対応だけでなく、住民の協力が必要である」と述べられました。

続いて総理大臣メッセージが披露されました。「政府としても、市民と地域が一体となった、地域社会の安全を守る取り組みを支援する。」

最後に、地域活動の推進と住民自治の充実、発展のため連帯を深めると大会宣言を決議いたしました。

大会宣言

安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会は、地域住民としての理想であり、私たちの目的であります。

私たちは、輝かしい未来に向かって、次の目標を掲げその達成に努めます。

一、住民自治活動の充実と発展を目指し、常に研鑽に励み、奉仕の精神の高揚に努めます。

一、全国の仲間と手を携え、交流を深め連帯の輪を広げるため、なお一層の加入促進に取り組みます。

一、人々がふれあい、助け合い、安心と安らぎのある豊かな地域社会の創造と発展に努めます。

以上のことを心に固く期し、ここ全国自治会連合会東京大会において決意を新たにし、すべての仲間と限りなく前進することを誓います。

右、宣言します。

仙台市連合町内会長会

役員名簿

（平成十六年三月現在）

会長	青木 美治栄	太白区
副会長	鷺尾 栄一郎	泉区
理事	星 茂	宮城野区
理事	早坂 光男	若林区
理事	武田 薫夫	青葉区
理事	佐々木 正一	若林区
理事	大塚 昭	青葉区
理事	大友 洋平	青葉区
理事	榎 耕作	青葉区
理事	菊地 伸治	青葉区
理事	佐藤 伸雄	青葉区
理事	小野寺 博	宮城野区
理事	増子 和男	若林区
理事	安住 信行	若林区
理事	齋藤 喜一郎	若林区
理事	齊藤 三郎	太白区
理事	我妻 泰平	若林区
理事	佐藤 誠	若林区
理事	清水 義行	泉区
理事	奥山 喜一郎	泉区
理事	北村 榮一	泉区
理事	菅原 篤郎	泉区
理事	澁谷 昭三	宮城野区
理事	小坂 金雄	宮城野区
監事		
委員	佐々木 正一	若林区
委員	佐藤 仲雄	青葉区
委員	増子 和男	宮城野区
委員	三浦 源三郎	若林区
委員	佐藤 誠	太白区
委員	北村 榮一	泉区

【広報委員名簿】

委員長	佐々木 正一	若林区
委員	佐藤 仲雄	青葉区
委員	増子 和男	宮城野区
委員	三浦 源三郎	若林区
委員	佐藤 誠	太白区
委員	北村 榮一	泉区

仙台市町内会長会



【編集後記】

「市連会長会だより」第十三号をお届け致します。今年には仙台市が政令指定都市となり、年号の平成と共に歩む十五年目を迎えました。

この節目の年、各区連協を構成する町内会の意欲的な活動の一端を紹介しましたので、今後の町内会運営の参考にしていただければと存じます。

（編集委員長 佐々木 正一）

区 名	青 葉 区	宮 城 野 区	若 林 区	太 白 区	泉 区	仙 台 市 の 自 治 活 動
区 連 合 会 数	36 連合会	13 連合会	9 連合会	20 連合会	29 連合会	107 連合会
町 内 会 数	506 (489)	216 (212)	180 (171)	270 (264)	196 (185)	1,368 (1,321)
町 内 会 の 班 数	6,626 (6,546)	5,898 (5,880)	3,237 (3,116)	4,627 (4,588)	3,673 (3,577)	24,061 (23,707)
加 入 世 帯 数	114,707 (113,136)	71,837 (71,649)	51,206 (49,955)	79,046 (78,583)	74,051 (72,312)	390,847 (385,635)
総 世 帯 数	134,383	77,278	55,843	90,215	77,744	435,463
加 入 率	85.4%	93.0%	91.7%	87.6%	95.2%	89.8%

注1 平成15年6月1日現在

2 上段の数字は全ての町内会、() 書きは連合町内会に加入している町内会